

今川医療福祉グループ医療・介護セミナー 「介護ロボット体験会」を開催



医療法人社団
みなみつくば会
運営部 事業推進室
課長 野口 兼慎さん

今川医療福祉グループ主催による医療・介護セミナーの第1回「介護ロボット体験会」自立支援型ロボットを使った機能訓練の実際」が11月21日(水)にサンシャイン・デイサービスセンターで開催された。

「HAL腰タイプ自立支援用」とは、足腰の弱った方などの体幹・下肢の運動をアシストする装着型ロボット。装着して体幹動作や立ち座り動作を繰り返すことにより、身体そのものの機能向上を促すため、HALを外した状態での自立度を高めることが期待できるといふ。

演者の野口さんは「医療法人社団みなみつくば会では、介護ロボットなどを活用し作業の効率化だけではなく、介護職員の負担軽減、介護サビスの質の向上や高齢者の自立支援を目指すとともに科学的介護の実現に向けた取り組みを推進している」と話した。

「HALトレニング」は、坐位・立位・歩行で構成されたエクササイズ。期待される効果としては、歩行速度・距離の改善、バランス能力の向上。これにより転倒リスクの軽減や介護者の軽減を目指している。

講演後には、医療・介護従事者などの職種に関わる参加者に対し、「HAL腰タイプ」の装着を実際に行った。特別な操作がなく時間をかけずに簡単に装着できる効率の良さがうかがわれた。また、同機のアシストを体感した装着者からは、「動作の安定と安心感がある」との沢山の声が上がった。

介護ロボットを使用した次世代型介護に今後さらなる注目や必要性が迫ってくるだろう。

◎今川医療福祉グループ・医療法人社団みなみつくば会・運営事務局
TEL 029-875-5151



「HAL腰タイプ」装着時の様子

フィリップス・コレクション展



フィンセント・ファン・ゴッホ《道路工夫》
1889年 油彩/カンヴァス
フィリップス・コレクション蔵 The Phillips Collection

米国で最も優れた私立美術館の一つとして知られるワシントン・フィリップス・コレクションは、裕福な実業家の家庭に生まれ、高い見識を持つコレクターであったダンカン・フィリップス(1886-1966)の旧私邸であった場所に位置しており、2018年には創設100周年を迎える。

1921年にはニューヨーク近代美術館より「フィリップス・コレクション展」を開催。

米国の最も優れた私立美術館の一つとして知られるワシントン・フィリップス・コレクションは、裕福な実業家の家庭に生まれ、高い見識を持つコレクターであったダンカン・フィリップス(1886-1966)の旧私邸であった場所に位置しており、2018年には創設100周年を迎える。

1921年にはニューヨーク近代美術館より「フィリップス・コレクション展」を開催。



エドガー・ドガ《稽古する踊り子》
1880年代はじめ-1900年頃
油彩/カンヴァス

三菱一号館美術館(東京・丸の内)
tel.03-5777-8600

(ハローダイヤル)

東京都千代田区丸の内2-6-2
https://mimt.jp/pc

会期 10月17日(水)~2019年2月11日(月・祝)
開館時間 10:00~18:00

(入館は各閉館の30分前まで)
(初日を除く金曜、第2水曜、会期最終週平日は2時まで)

休館日 月曜日、年末年始(12/31、1/1)
(但し、祝日の場合、会期最終週と
トークショーの01/029、11/26、1/28は開館)

入館料 一般.....1,500円
大高生.....1,000円
小・中学生.....700円

同展覧会の招待券を 5組10名様にプレゼント!

ハガキに、住所・氏名・年齢・電話番号・展覧会名・気になった「記事」や「広告」など本紙の感想を明記の上、下記の宛先までご応募下さい。

〒305-0854 つくば市上横場423-3
株式会社プレスデン「ときめきミュージアム」まで
※当選者の発表は商品の発送をもって代させていただきます。

ときめきミュージアム

も早くアメリカでは近世美術を最初美術館として開館している。フィリップスのコレクションは、このコレクションの中から、アール・ドレーク、ドラクロワ、19世紀の巨匠から、父マネ、印象派以降のモネ、印象派以降の画を牽引したセザンヌ、ゴーガン、クレール、ピカソ、ブラックらの秀作75点を展覧。